

令和7年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号 5208 学校名 中津高等学校（定時制）

社会的役割等 (スロー・ミッション)	生徒の多様性を尊重し、生徒の学びを保障する定時制高校として確かな基礎学力を身に付け、誰一人取り残さないきめ細かな教育的支援を通して自立した社会人の育成を目指す学校	
学校教育目標 (教育方針)	1 人間尊重の精神を基調として、生徒一人一人との心のふれあいを深め、信頼と愛情に基づく教育実践に努める。 2 勤労生徒としてのたくましい心身と強い責任感を高揚し、民主的社会の担い手として調和の取れた人間性豊かな生徒を育成する。	
3つの方針 (スロー・ポリシー)	どんな生徒を育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力と生きる力を身に付けることで、自信をもって自らの人生を切り拓くことのできる生徒 協同を通して他者との信頼関係を築きながら、一步前に踏み出せる生徒 様々な参加機会を活用して自らの役割を理解し、家庭・地域・社会の担い手となる生徒
	生徒をどう育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの興味・関心能力・経験等に合わせ学びの楽しさを育む授業の工夫と基礎学力指導 少人数でアットホームな学校生活の中で自己効力感や信頼関係を育む学校文化の維持・発展 様々な学校行事や就労体験を通じた自己有用感の育成
	どんな生徒を待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> 自らの課題に対して4年間努力して前向きに取り組もうという意志のある生徒 仲間や教師など他者との信頼関係を築き、自らの可能性を広げたいという生徒 卒業後の進路を見据え学業と就労の両立を図り、学校行事に積極的に参加しようとする生徒
学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> 小学校や中学校からの不登校や登校渋りの生徒が多く、中学校までの基礎的な学力が十分に定着していない。 対人関係やグループ行動、集団が苦手、他人とのコミュニケーションが不十分な生徒が多い。 将来の見通しが持てず、自分のキャリアデザインを描くことができない生徒が多い。 親子関係が良好でない家庭が多く、生徒と十分な信頼関係が構築されていないため、学校と家庭の連携が十分に機能しない。 	
教育指導の重点	領域・分野	の具体的な重点目標
	学校経営	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の安心・安全を確保し、個々の発達段階に応じた成長を支援する。 「教職員の働き方プラン」を推進し、教職員の働き方改革や多忙化解消を推進していく。
	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 生徒個々の理解度を確認したうえで、「学び直し」の要素を取り入れ、個々の理解度に応じた学習支援を心掛け、基礎学力の定借を目指す。 生徒の興味・関心を高め、学習の定着を図るため、ICT機器を効果的に活用する。
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の職員連絡会において生徒情報を共有し、職員の共通理解をもとに個々の生徒の指導・支援を行う。 教育相談や学校行事などでの協働を通して、自己理解や他者理解を促し、社会性を育成する。
	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 将来に見通しを持ち、早い段階から将来設計を家族を交えて検討する。 基本的な生活習慣を確立し、経済的自立に向けた一歩を踏み出す。